

公開講座の開設主旨・目的等

地域社会における外国ルーツの住民とのコミュニケーション手段として「やさしい日本語」が普及したり、日本語教育の推進に関する法律が施行されたりと、日本語教育への注目が高まっています。今回の公開講座では、日本語教育と社会という観点から、これまで日本国内で行われてきた日本語教育の展開をふりかえるとともに、未来を担う子どもたちに対する言語教育について検討したいと思います。

【第一講義】

日本語を母語としない人を学習者とする日本語教育は、その時々日本と海外の国・地域との関係性に大きく影響を受ける。そのような関係性において、日本国内の日本語教育には何が求められ、どう展開していったのか。戦後から1980年代までの時期を中心とし、「戦後賠償・技術援助」「国際化」などの名のもとに、日本語教育がどのような学習者を対象とし、政策や教育実践を展開してきたのかを議論し、日本語教育の実践と社会との関わりについて考えたい。

【第二講義】

言語能力は認知的な活動を行う基盤となるものである。第二言語習得研究が進む中、言語形成期の途中で異なる言語コミュニティへの移動を余儀なくされた子どもたちは、移動先の言語はもちろん、母語の能力の発達でさえも妨げられる懸念があると指摘されている。本講義では、第二言語習得研究の知見と、母語能力も含めた子どもたちの言語能力育成のための取り組みを紹介しながら、よりよい日本語指導のあり方を考えたい。

講義日程・題目及び講師

回	講義日	時間	講義題目	講師
1	10月14日	13:20～14:50	戦後日本国内の日本語教育の展開—日本語教育に求められたのは何か	川上尚恵
2		15:10～16:40	日本語指導が必要な子どもたちへの言語教育	齊藤美穂

連絡先

〒657-8501
神戸市灘区鶴甲1-2-1
神戸大学国際人間科学部鶴甲第一キャンパス事務課総務係
TEL:078-803-7515
FAX:078-803-7509